

## 医薬品の過剰摂取が原因と疑われる救急搬送人員の調査結果について

近年、治療目的ではなく濫用目的で医薬品を使用する事例が増えていると言われており、特に若年者が市販薬を濫用するいわゆる「オーバードーズ」が問題となっています。

そのため、県内のオーバードーズの実態把握の一端として、医薬品の過剰摂取が原因と疑われる救急搬送人員の調査を実施いたしましたので、その結果を下記のとおりお知らせいたします。

なお、本調査結果は、濫用目的で医薬品を使用したものに限らず、誤って医薬品を多量に服用した事例等も含まれますので、県内のオーバードーズの実態を表す数字ではないことに十分ご注意ください。

今後は、市販薬を販売する薬局やドラッグストア等に対して医薬品の適正販売に関する指導を強化していくとともに、県民の皆様に対しては医薬品の適正使用を呼びかけ、特に若年者や女性に対して、オーバードーズの危険性の啓発や個人の問題に対する相談窓口の周知に重点的に取り組んでまいります。

## 記

- 1 調査対象消防本部（局） 県内 24 本部（局）
- 2 調査対象期間 令和2年1月から令和5年12月までの4年間
- 3 調査項目 ①搬送人員 ②年代 ③性別
- 4 調査結果概要
  - ・ 医薬品の過剰摂取が原因と疑われる救急搬送人員は年々増加しており、特に10代及び20代の増加が顕著である。（搬送人員のうち10代・20代が占める割合が37%から45%に増加、人員は1.5倍）
  - ・ 全体の7割を女性が占め、全年代で女性のほうが多い。
  - ・ 国が行った調査結果と傾向は同様であった。（対象期間：令和2年1月～令和5年6月）
- 5 調査結果詳細 別添のとおり

# 医薬品の過剰摂取が原因と疑われる 救急搬送人員の調査結果

茨城県保健医療部医療局薬務課

# 調査概要

## 1 調査対象消防本部（局）

茨城県内 24 本部（局）

水戸市消防局、日立市消防本部、土浦市消防本部、石岡市消防本部、常陸太田市消防本部、高萩市消防本部、北茨城市消防本部、笠間市消防本部、取手市消防本部、つくば市消防本部、常陸大宮市消防本部、那珂市消防本部、かすみがうら市消防本部、小美玉市消防本部、茨城町消防本部、大洗町消防本部、大子町消防本部、茨城西南広域消防本部、筑西広域市町村圏事務組合消防本部、常総地方広域市町村圏事務組合消防本部、稲敷広域消防本部、鹿行広域事務組合消防本部、鹿島地方事務組合消防本部、ひたちなか・東海広域事務組合消防本部

2 調査対象期間 令和2年1月から令和5年12月まで（4年間）

3 調査項目 ①搬送人員 ②年代 ③性別

## 4 調査対象

救急活動記録の初診時傷病名に以下のワードが含まれるもの

- ・「OD」、「Over dose」、「オーバードーズ」
- ・「薬」かつ「過剰」、「薬」かつ「過量」、「薬」かつ「多量」、「薬」かつ「大量」、「薬」かつ「中毒」

## 5 留意点

今回の調査は、救急搬送によって受診した者のうち、救急活動記録から、初診時の傷病名に「OD」、「オーバードーズ」、「薬」かつ「過剰」等のキーワードが含まれるものを検索し集計したものです。

- ・初診時の傷病名の記載内容は、地域などによって差があり、医薬品の過剰摂取が原因となっているもの全てを集計したものではないこと
- ・集計対象には誤飲等によるものも含まれていること

等の理由から、「医薬品の過剰摂取（オーバードーズ）」が原因で搬送された事例を、悉皆的に網羅しているものではなく、あくまで参考値として調査したものです。

## 医薬品の過剰摂取が原因と疑われる救急搬送人員の調査結果

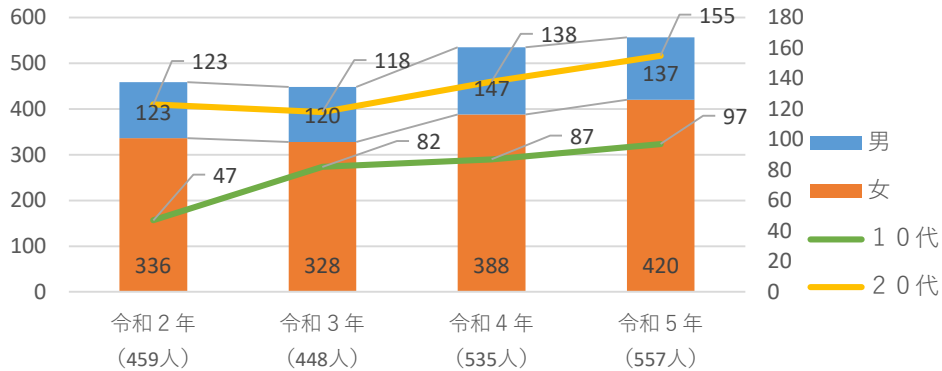
	令和2年			令和3年			令和4年			令和5年		
	男	女	合計	男	女	合計	男	女	合計	男	女	合計
10歳未満	0	1	1	2	0	2	0	1	1	0	0	0
10代	13	34	47	18	64	82	13	74	87	18	79	97
20代	23	100	123	23	95	118	37	101	138	36	119	155
30代	19	57	76	21	51	72	33	59	92	26	66	92
40代	24	59	83	21	33	54	25	61	86	16	65	81
50代	14	38	52	14	39	53	20	42	62	20	34	54
60代	13	18	31	9	13	22	3	18	21	8	21	29
70代	5	13	18	4	17	21	11	10	21	8	21	29
80代以上	12	16	28	8	16	24	5	22	27	5	15	20
合計	123	336	459	120	328	448	147	388	535	137	420	557
男女比	27%	73%		27%	73%		27%	73%		25%	75%	

※調査対象：県内消防本部（局）（計24本部（局））

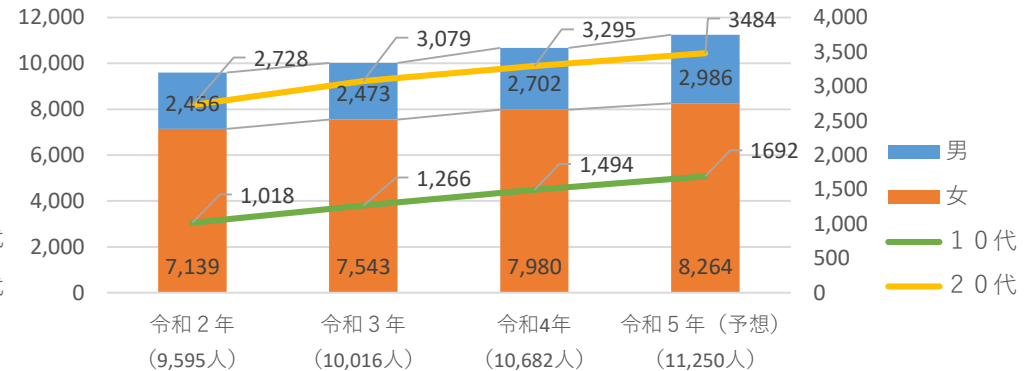
※消防安全課及び薬務課調べ

# 分析結果

【本県調査】 救急搬送人員



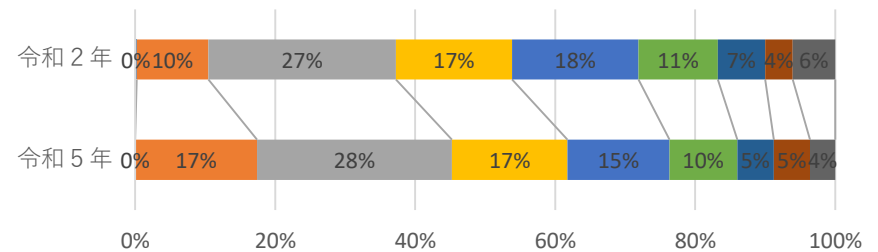
【国調査】 救急搬送人員



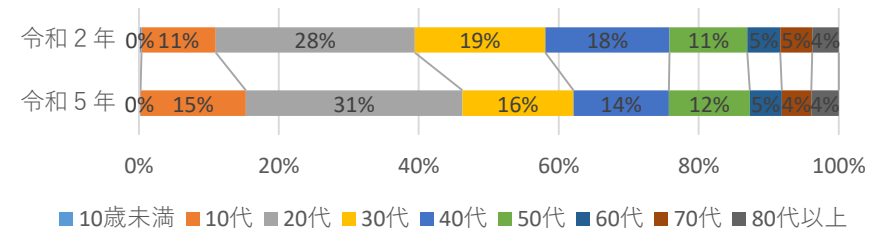
※令和5年(予想): 上半期の値を年換算

- 救急搬送人員は年々増加傾向にあり、R2に比べR5は1.2倍であった。
- 特に10代及び20代の増加が顕著であり、人員は170人から252人へ1.5倍となり、その年代が占める割合も37%から45%へ増加している。
- 年次ごとの男女比は1：3であり、特に10代及び20代では1：4と、いずれも女性の割合が非常に高い。
- 本県調査について、国調査の結果と傾向は同様だった。

【本県調査】 年齢構成比



【国調査】 年齢構成比



本県、国ともに救急搬送人員は年々増加しており、特に10代及び20代の増加が顕著である。また、全年代で女性の占める割合が高い。



## (参考)国調査：医薬品の過剰摂取が原因と疑われる救急搬送人員の調査結果

	令和2年			令和3年			令和4年			令和5年上半期 (6月末まで)		
	男	女	合計	男	女	合計	男	女	合計	男	女	合計
<b>10歳未満</b>	23	15	38	15	12	27	12	14	26	10	4	14
<b>10代</b>	188	830	1,018	226	1,040	1,266	292	1,202	1,494	160	686	846
<b>20代</b>	536	2,192	2,728	580	2,499	3,079	730	2,565	3,295	376	1,366	1,742
<b>30代</b>	424	1,365	1,789	414	1,274	1,688	445	1,375	1,820	233	658	891
<b>40代</b>	515	1,187	1,702	462	1,104	1,566	447	1,096	1,543	237	531	768
<b>50代</b>	336	732	1,068	352	759	1,111	347	812	1,159	223	426	649
<b>60代</b>	174	276	450	161	286	447	175	344	519	95	162	257
<b>70代</b>	138	302	440	137	296	433	144	289	433	86	151	237
<b>80代以上</b>	122	240	362	126	273	399	110	283	393	73	148	221
<b>合計</b>	2,456	7,139	9,595	2,473	7,543	10,016	2,702	7,980	10,682	1,493	4,132	5,625

※調査対象本部：政令市消防本部・東京消防庁及び各都道府県の代表消防本部（計52本部）

※消防庁及び厚生労働省調べ

## (参考)国調査:調査概要

### 1 調査対象消防本部

5 2 本部（政令市消防本部・東京消防庁及び各都道府県の代表消防本部）

札幌市消防局・青森地域広域事務組合消防本部・盛岡地区広域消防組合消防本部・仙台市消防局・秋田市消防本部・山形市消防本部  
福島市消防本部・水戸市消防局・宇都宮市消防局・前橋市消防局・さいたま市消防局・千葉市消防局・東京消防庁・川崎市消防局  
横浜市消防局・相模原市消防局・新潟市消防局・富山市消防局・金沢市消防局・福井市消防局・甲府地区広域行政事務組合消防本部  
長野市消防局・岐阜市消防本部・静岡市消防局・浜松市消防局・名古屋市消防局・四日市市消防本部・大津市消防局・京都市消防局  
大阪市消防局・堺市消防局・神戸市消防局・奈良市消防局・和歌山市消防局・鳥取県東部広域行政管理組合消防局・松江市消防本部  
岡山市消防局・広島市消防局・下関市消防局・徳島市消防局・高松市消防局・松山市消防局・高知市消防局・福岡市消防局  
北九州市消防局・佐賀広域消防局・長崎市消防局・熊本市消防局・大分市消防局・宮崎市消防局・鹿児島市消防局・那覇市消防局

2 調査対象期間 令和2年1月から令和5年6月まで（3年半）

3 調査項目 ①搬送人員 ②年代 ③性別

### 4 調査対象

救急活動記録の初診時傷病名に以下のワードが含まれるもの

- ・「OD」、「Over dose」、「オーバードーズ」
- ・「薬」かつ「過剰」、「薬」かつ「過量」、「薬」かつ「多量」、「薬」かつ「大量」、「薬」かつ「中毒」

### 5 留意点

今回の調査は、救急搬送によって受診した者のうち、救急活動記録から、初診時の傷病名に「OD」、「オーバードーズ」、「薬」かつ「過剰」等のキーワードが含まれるものを検索し集計したものです。

- ・初診時の傷病名の記載内容は、地域などによって差があり、医薬品の過剰摂取が原因となっているもの全てを集計したものではないこと
- ・集計対象には誤飲等によるものも含まれていること

等の理由から、「医薬品の過剰摂取（オーバードーズ）」が原因で搬送された事例を、悉皆的に網羅しているものではなく、あくまで参考値として調査したものです。